

平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 山加電業株式会社

コード番号 1789 URL <http://www.yamaka.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三森 茂

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 中澤 文雄

TEL 03(5957)7661

四半期報告書提出予定日 平成26年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	3,495	22.8	106	—	180	—	157	—
25年9月期第3四半期	2,847	23.2	△19	—	14	△69.3	2	△84.8

(注) 包括利益 26年9月期第3四半期 157百万円 (—%) 25年9月期第3四半期 2百万円 (△85.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	24.76	—
25年9月期第3四半期	0.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年9月期第3四半期	3,003	2,119	70.6	332.81
25年9月期	3,050	1,987	65.1	312.04

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 2,119百万円 25年9月期 1,987百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	2.00	—	2.00	4.00
26年9月期	—	2.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,011	20.0	175	37.7	173	5.6	183	29.7	28.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年9月期3Q	6,375,284 株	25年9月期	6,375,284 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年9月期3Q	6,201 株	25年9月期	6,201 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期3Q	6,369,083 株	25年9月期3Q	6,369,083 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による減少が顕著化したものの、政府の経済政策・金融政策により、企業収益の改善や設備投資も増加に転じるなど、景気は緩やかな回復基調を維持しております。

建設業界におきましては、公共建設投資は震災復興関連を中心に増加しており、また、民間建設投資も順調に推移いたしました。一方、新規受注の獲得競争は依然として激しく、建設技能労働者の不足や労務・建築コストの上昇傾向が継続しており、当社を取り巻く環境は依然として厳しい状況で推移しています。

このような状況の中、当社グループは経営体質の更なる強化、売上の持続的拡大と収益体質の確立を目標とし、全社を挙げて取り組んでまいりました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の受注高は、12億8千5百万円（前年同四半期比53.2%減）、売上高は34億9千5百万円（前年同四半期比22.8%増）となりました。また利益につきましては、電気工事業では、手持工事の完工高が増加したことにより利益も増加することとなりました。建物管理・清掃業では、材料費・人件費の高騰により、当初予想の利益の確保に至りませんでした。営業利益は1億6百万円（前年同四半期は1千9百万円の営業損失）、経常利益は1億8千万円（前年同四半期は1千4百万円）、四半期純利益は1億5千7百万円（前年同四半期は2百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(電気工事業)

電気工事業については、受注の伸び悩みがありましたものの、手持工事が順調に進捗したことから、当第3四半期連結累計期間の受注高は12億8千5百万円（前年同四半期比53.2%減）、売上高は28億1千5百万円（前年同四半期比27.1%増）、セグメント利益（営業利益）は8千4百万円（前年同四半期は6千7百万円のセグメント損失）となりました。

(建物管理・清掃業)

建物管理・清掃業については、売上を順調に伸ばしましたが、材料費・人件費の高騰、受注競争による利益率低下の影響が見られ、当第3四半期連結累計期間の売上高は6億8千万円（前年同四半期比7.6%増）、セグメント利益（営業利益）は2千万円（前年同四半期比55.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ4千7百万円減少し、30億3百万円となりました。また、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億7千9百万円減少し、8億8千3百万円となりました。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億3千2百万円増加し、21億1千9百万円となりました。

資産の減少の主な要因は、現金預金4億7千9百万円の増加もありましたが、受取手形・完成工事未収入金等3億9千万円の減少、未成工事支出金6千4百万円の減少及び未収消費税等7千3百万円の減少によるものであります。

負債の減少の主な要因は、短期借入金1億円の増加もありましたが、工事未払金2億4千1百万円の減少によるものであります。

純資産の増加の主な要因は、利益剰余金1億3千2百万円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の通期の連結業績予想については、今後の完工、受注予測を踏まえた結果、「業績予想の修正に関するお知らせ」(平成26年4月23日付)から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	852,756	1,332,054
受取手形・完成工事未収入金等	771,886	381,334
未成工事支出金	242,118	177,872
繰延税金資産	25,800	25,800
その他	101,061	18,535
貸倒引当金	△974	△3,674
流動資産合計	1,992,649	1,931,923
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	439,648	440,301
機械・運搬具	347,198	347,198
工具器具・備品	257,419	259,102
土地	359,351	359,351
減価償却累計額及び減損損失累計額	△736,177	△792,248
有形固定資産合計	667,440	613,705
無形固定資産		
のれん	244,421	255,308
その他	6,374	5,518
無形固定資産合計	250,796	260,827
投資その他の資産		
投資有価証券	105,651	173,007
長期貸付金	344,000	335,000
繰延税金資産	400	400
その他	34,672	40,556
貸倒引当金	△344,815	△351,824
投資その他の資産合計	139,908	197,139
固定資産合計	1,058,144	1,071,671
資産合計	3,050,793	3,003,595

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	467,344	225,825
短期借入金	100,000	200,000
未払法人税等	23,431	17,714
未成工事受入金	144,200	142,951
賞与引当金	20,715	17,312
工事損失引当金	12,257	1,362
完成工事補償引当金	240	960
その他	123,347	147,145
流動負債合計	891,536	753,272
固定負債		
退職給付引当金	154,715	116,586
再評価に係る繰延税金負債	8,327	8,327
その他	8,779	5,740
固定負債合計	171,822	130,654
負債合計	1,063,358	883,926
純資産の部		
株主資本		
資本金	989,669	989,669
資本剰余金	821,016	821,016
利益剰余金	353,665	485,898
自己株式	△1,900	△1,900
株主資本合計	2,162,450	2,294,683
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△175,015	△175,015
その他の包括利益累計額合計	△175,015	△175,015
純資産合計	1,987,435	2,119,668
負債純資産合計	3,050,793	3,003,595

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高		
完成工事高	2,215,078	2,815,155
不動産管理売上高	632,333	680,078
売上高合計	2,847,412	3,495,234
売上原価		
完成工事原価	1,938,663	2,342,294
不動産管理売上原価	418,772	470,850
売上原価合計	2,357,436	2,813,145
売上総利益		
完成工事総利益	276,415	472,860
不動産管理売上総利益	213,560	209,228
売上総利益合計	489,976	682,089
販売費及び一般管理費	509,387	575,479
営業利益又は営業損失(△)	△19,411	106,609
営業外収益		
受取利息	1,554	96
貸倒引当金戻入額	—	4,500
保険解約返戻金	3,525	—
持分法による投資利益	35,289	67,355
その他	814	4,572
営業外収益合計	41,184	76,525
営業外費用		
支払利息	2,584	1,681
貸倒引当金繰入額	2,750	—
その他	1,753	715
営業外費用合計	7,088	2,397
経常利益	14,684	180,738
特別利益		
固定資産売却益	11	—
特別利益合計	11	—
特別損失		
固定資産除却損	1,326	—
投資有価証券売却損	365	—
電話加入権評価損	—	62
特別損失合計	1,692	62
税金等調整前四半期純利益	13,003	180,675
法人税、住民税及び事業税	16,560	22,966
法人税等調整額	△6,207	—
法人税等合計	10,352	22,966
少数株主損益調整前四半期純利益	2,650	157,709
四半期純利益	2,650	157,709

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,650	157,709
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	2,650	157,709
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,650	157,709
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	電気工事業	建物管理 ・清掃業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,215,078	632,333	2,847,412	—	2,847,412
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	258	258	△258	—
計	2,215,078	632,591	2,847,670	△258	2,847,412
セグメント利益又は損失(△)	△67,304	45,337	△21,967	2,556	△19,411

(注) 1 売上高の調整額△258千円及びセグメント利益又は損失の調整額2,556千円は、セグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	電気工事業	建物管理 ・清掃業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,815,155	680,078	3,495,234	—	3,495,234
セグメント間の内部 売上高又は振替高	60	677	737	△737	—
計	2,815,215	680,755	3,495,971	△737	3,495,234
セグメント利益	84,813	20,092	104,905	1,704	106,609

(注) 1 売上高の調整額△737千円及びセグメント利益の調整額1,704千円は、セグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「建物管理・清掃業」セグメントにおいて、管理業務受託事業を譲り受けております。これによる当第3四半期連結累計期間におけるのれんの増加額は、35,000千円であります。